

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西垣林業豊田新製材工場(製材工場棟)	階数	地上 2階
建設地	豊田市御船町山ノ神56-116.56-281.56-282	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	5 人
気候区分	5地域	年間使用時間	2,192 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年8月28日
敷地面積	8,153 m ²	作成者	(03896-21)今西良一
建築面積	3,846 m ²	確認日	2017年8月30日
延床面積	3,906 m ²	確認者	(株)三橋設計 林美博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響)チャート

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 72%

③上記+②以外の: 72%

④上記+: 72%

2-3 大項目の評価(レダークチャート)

Q2 サービス性能: 3.3

Q1 室内環境: 0.0

Q3 室外環境(敷地内): 2.8

LR1 エネルギー: 3.7

LR2 資源・マテリアル: 3.1

LR3 敷地外環境: 3.4

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.1</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="font-size: 1.5em;">43.8 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.1</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材・外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

3 対応性・更新性				3.5	0.48			-	3.5
3.1 空間のゆとり		②	平均階高:4.75m >3.9m 壁長さ比率:0.08 <0.1	5.0	0.31			-	
1 階高のゆとり				5.0	0.60			-	
2 空間の形状・自由さ				5.0	0.40			-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			-	
3.3 設備の更新性				2.8	0.38			-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性		2.0	0.17			-			
3 電気配線の更新性		3.0	0.11			-			
4 通信配線の更新性		3.0	0.11			-			
5 設備機器の更新性		3.0	0.22			-			
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.22			-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57			-	2.8
1 生物環境の保全と創出		独自③		3.0	0.30			-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40			-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30			-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50			-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.4
LR1 エネルギー					0.40			-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制					-			-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28			-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm=0.42 高効率器具の採用	5.0	0.43			-	5.0
4 効率的運用				2.5	0.29			-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00			-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制				2.0	0.50			-	
集合住宅の評価					-			-	
4.1 モニタリング					-			-	
4.2 運用管理体制					-			-	
LR2 資源・マテリアル					0.30			-	3.1
1 水資源保護				3.4	0.15			-	3.4
1.1 節水			節水コマ+省水型器具	4.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			-	
2 1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			-	
2 2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.63			-	2.8
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		② 独自	-	3.0	0.21			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.21			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	解体時に分別しやすいボード下地構成	4.0	0.25			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22			-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68			-	
1 消火剤				-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)			発泡断熱材の使用なし	5.0	0.50			-	
3 冷媒				3.0	0.50			-	
LR3 敷地外環境					0.30			-	3.4
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率=72%	4.1	0.33			-	4.1
2 地域環境への配慮				3.3	0.33			-	3.3
2.1 大気汚染防止			火気の使用がない	5.0	0.25			-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.2	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25			-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			-	
3 交通負荷抑制		独自		2.0	0.25			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33			-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			-	
1 騒音		独自		3.0	1.00			-	
2 振動		独自		-	-			-	
3 悪臭				-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40			-	
1 風害の抑制				3.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				-	-			-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)西垣林業豊田新製材工場(製材工場棟)

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.1
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.1	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.17	外構緑化:43.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)西垣林業豊田新製木

計画上の配慮事項	
総合	建物の長寿命化と省エネルギー対策、地球温暖化防止に配慮している。
Q1 室内環境	工場用途のため、評価対象外
Q2 サービス性能	耐久性、補修性に優れた材料を使用するよう努めている。将来の用途変更可能性などを考慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	周囲の建物と高さや外装を調和させている。周囲の植栽を保存している。
LR1 エネルギー	高効率機器の採用で設備システムの高効率化を図っている。
LR2 資源・マテリアル	発泡断熱材を使用せず、オゾン層の破壊拡大に配慮している。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2を削減し、地球温暖化防止を図っている。燃焼機器を使用せず、大気汚染防止に努めている。
その他	特になし